



(医)潤心会理事長(岩手県)

鈴木千枝子 ⑥

学生時代は部活に明け暮れ、卒業1年で開業してしまった私の歯科医師としてのスキルアップはもっぱら週末の研修会。今月はマイブームのセラックが2日、矯正が4日、う蝕予防が1日、マネジメント1日、口臭治療1日と、休日返上の殺人的な日

程を組んでしまった。われながらいい加減にしてほしい。とは言え、日程を組んだのは全て自分なわけで……。

でも歯科医師の中には、こういう過密な日程をもう何十年も続けている人がたくさんいる。私の師匠たちはみんなそうだ。

口臭治療の仲間たち

中でも口臭治療の本田俊一先生

は毎月大阪から青森県八戸市まで本田式口臭治療を指導するため、もう7年も通って来てくださっている。八戸での教え子は33医院100人を軽く超えている。

というのも、この研修会は歯科医師もスタッフも一緒に学べ

る内容で、宿題や試験もある。スタッフのやる気スイッチがバチバチ入るので、院長よりスタッフの方が試験で高得点を取るのも普通だ。「エクセレントプレス

北東北」のホームページもあるので、興味のある方は調べてみてほしい。参加希望の先生も受

け付けている。

口臭治療を学ぼうとする先生たちの共通点はやはり「患者さんの悩みに真摯に向き合おうとするまじめな人」で、何気ない人ばっかりなのだ。ちなみに私は「周りは皆ライバル」と思っていたのだが、この研修会に参加したのをきっかけに、少しいい

人になれた気がする。

「いいことは皆で共有して楽しみましょう」の精神で、さまざまな興味深い研修が次々に紹介される。皆で学べば楽しいし、次々に出てくる疑問、珍問も恥ずかしくなく相談できる。勉強嫌いな私が今は次々と広がる新しい世界が楽しくてしょうがない。そのため、週末が現状のような超過密スケジュールになっているのだ。

58歳の私はすでに次世代の育成の時期になり、今月はほとんど長女も一緒。ご苦労なことである。帰りの新幹線の中で、彼女は今受講したばかりの研修内容をパソコンに打ち込み、私はこの原稿を書いている。また楽しからずやである。